



ひまわり



第18回 福祉の絵手紙 優秀賞受賞作品 向井 喜八 様

- 2 第30回 職員合同研修会開催
- 3 敬老特集●長寿番付2022
- 4 ▶ 5 利用者満足度調査の結果について
- 6 連載vol.56●[記録に残したい記憶] ~貴重な体験を語り継ぐ~
- 7 ▶ 10 各施設トピックス
- 11 福寿園ニュース
家族会だより
- 12 連載
 - [新連載スタート]
福寿園オリジナル四コマまんが
「新人介護士 フクちゃん」
 - 施設長・管理者のリレーコラム

165号

令和4年9月10日

職員合同研修会開催



トークセッション



講演する湯佐弘子氏



講演する樋口直美氏

7月19日、第30回職員合同研修会が3年ぶりにロワジールホテル豊橋を会場に開催されました。併せてコロナ感染予防を踏まえ、会場での参加者を通常の半分ほどに制限し、各施設オンラインによる同時中継というハイブリッド型で279名の職員が参加しました。

冒頭に永年勤続表彰が行われ、豊橋会場に参加した10年以上の勤続表彰者87名に対し、一人ひとりに理事長より感謝状と記念品が贈られました。特に今年は法人の事業拡大の節目となった主たる大型施設の開設年度に入社した職員が多く、代表謝辞も当時の施設立ち上げの苦労や上司、先輩、同僚等への感謝等、熱い思いが込められていました。



永年勤続表彰

午前は、まず理事長より平成28年に策定された中長期経営計画の中間見直しにともなう改定版について基調報告があり、法人の方向性を伝達し、次なる時代に法人の目指す姿を共有しました。

続いて、昨年度に実施された利用者満足度調査結果について、利用者へのヒアリングから集計までをご担当いただいたNPO法人しんしろドリーム荘代表の山本拓哉氏にご登壇いただき、トークセッション形式で今回の調査結果を総括していただきました。「満足度のいちごっこ」「動かさぬ介護、食べさせぬ介護」といった大変分かりやすいキーワードでご説明いただきました。



オンライン研修

会場にお迎えしました。初めにレビー小体病当事者の樋口直美氏より「内側から見た認知症」本人も介護者もお互いに楽になる方法」をテーマにご講演いただきました。「認知症だから」という先入観を持たず、その人の本質、その人らしさ、魂を感じ、寄り添っていくことの大切さを学びました。

続いては、マナーセンス代表の湯佐弘子氏より「ペップトークで介護の世界をより良くしよう」デザインニールランドに学ぶ「快適な職場の創り方」についてご講演をいただきました。ペップトークとは短く、分かりやすく、肯定的な意欲を引き出す言葉かけです。どのような状況でも自分自身のとらえ方を変換させることで感情や行動も変えることができ、サービスマン向上や職場のチームワーク、そして、自分自身の人生を豊かにできることを学びました。

コロナ禍により職員が合同で行事等を行うことが難しい状況ですが、参加者の声からはオンライン会場でも同じ思いを共有できたという声も多く、第30回の節目に新たな開催方法が確立できたことも大きな成果となりました。

祝敬老 おめでとうございます

今年の9月19日(月)は敬老の日です。多年にわたり社会に尽くしてきたお年寄りを敬愛し、長寿を祝うとともに、若年者が高齢者の福祉に関心を深める機会になるようにとの願いも込められています。お健やかに敬老の日を迎えられますことに、心からお慶び申し上げます。

祝敬老

福寿園長寿番付(10/11)

令和四年秋場所
行司 山田 浩三
年齢はすべて令和四年八月末日現在です。
敬称略

東

- 横綱(東) 藤村 瀬のぶ江 (10/25歳) 西
- 大関(東) 田中 中しやう (10/24歳) 西
- 大関(東) 田中 紫田 スエツコ (10/23歳) 西
- 関(東) 脇花の里 大島 やスネ (10/22歳) 西
- 小(東) 結東 進 日下 ヨイ (10/21歳) 西
- 小(東) 結東 進 木村 彦子 (10/20歳) 西
- 前頭(東) 一 養護 言 桑原 ハツエ (10/19歳) 西
- 同(東) 二 田 原 中 神 まつ (10/18歳) 西
- 同(東) 三 田 原 田 中 小 工 (10/17歳) 西
- 同(東) 四 山 崎 近 藤 榮 (10/16歳) 西

- 同(東) 五 (10/15歳) 西 小出 志づ (10/15歳) 西
- 同(東) 六 田 原 伊 藤 春子 (10/14歳) 西
- 同(東) 七 田 原 河 邊 幸子 (10/13歳) 西
- 同(東) 八 渡 美 島 津 未子 (10/12歳) 西
- 同(東) 九 花の里 小 川 子 ヨノ (10/11歳) 西
- 同(東) 十 (10/10歳) 西 中 神 はつ (10/10歳) 西
- 同(東) 十一 (みなみ) 伊 藤 美鶴 (10/9歳) 西
- 同(東) 十二 (10/8歳) 西 佐 野 や 工 子 (10/8歳) 西
- 同(東) 十三 (10/7歳) 西 中 山 清 子 (10/7歳) 西
- 同(東) 十四 東 進 深 谷 はつえ (10/6歳) 西
- 同(東) 十五 (みなみ) 柴 田 ひで子 (10/5歳) 西
- 同(東) 十六 田 原 井 上 よう 子 (10/4歳) 西

- 同(東) 十七 (10/3歳) 西 伊 東 雄子 (10/3歳) 西
- 同(東) 二 東 進 森 文子 (10/2歳) 西
- 同(東) 三 田 原 渡 邊 繁子 (10/1歳) 西
- 同(東) 四 (10/0歳) 西 岡 橋 義経 (10/0歳) 西
- 同(東) 五 東 進 濱 野 か 奈 江 (10/0歳) 西
- 同(東) 六 田 原 藤 井 泰子 (10/0歳) 西
- 同(東) 七 渡 美 小 久 保 千 里 子 (10/0歳) 西
- 同(東) 八 東 進 栗 野 藤 子 (10/0歳) 西
- 同(東) 九 花の里 武 井 津 ね 子 (10/0歳) 西
- 同(東) 十 (10/0歳) 西 羽 根 ト キ 工 (10/0歳) 西
- 同(東) 十一 田 原 河 邊 千 歳 (10/0歳) 西
- 同(東) 十二 東 進 近 藤 志 ま (10/0歳) 西

西

- 横綱(東) 藤村 成田 花子 (10/25歳) 西
- 大関(西) 津 牧 玉 枝 (10/24歳) 西
- 関(西) 脇田 原 鈴 木 イ サ 子 (10/23歳) 西
- 関(西) 脇花の里 藤 田 シ マ 子 (10/22歳) 西
- 小(西) 結 (みなみ) 桑 原 か く (10/21歳) 西
- 小(西) 結 (みなみ) 伊 賀 千 鶴 子 (10/20歳) 西
- 前頭(西) 一 ち 竹 内 美 知 子 (10/19歳) 西
- 同(西) 二 渡 美 渡 會 と し 子 (10/18歳) 西
- 同(西) 三 東 進 佐 木 ふ さ 子 (10/17歳) 西
- 同(西) 四 武 豊 厚 味 與 三 吉 (10/16歳) 西

- 同(西) 五 (10/15歳) 西 細 川 タカ (10/15歳) 西
- 同(西) 六 (10/14歳) 西 松 山 ゆ き 魚 (10/14歳) 西
- 同(西) 七 (10/13歳) 西 近 藤 ぎん (10/13歳) 西
- 同(西) 八 渡 美 杉 浦 佳 三 (10/12歳) 西
- 同(西) 九 (10/11歳) 西 山 田 保 範 (10/11歳) 西
- 同(西) 十 (みなみ) 佐 藤 文 子 (10/10歳) 西
- 同(西) 十一 (10/9歳) 西 萩 野 つ や 子 (10/9歳) 西
- 同(西) 十二 (10/8歳) 西 阿 部 よ ね 子 (10/8歳) 西
- 同(西) 十三 (10/7歳) 西 渡 會 ゆ り (10/7歳) 西
- 同(西) 十四 (10/6歳) 西 間 瀬 富 子 (10/6歳) 西
- 同(西) 十五 (10/5歳) 西 田 島 き み 子 (10/5歳) 西
- 同(西) 十六 花の里 山 本 千 代 (10/4歳) 西

- 同(西) 十七 (10/3歳) 西 鈴 木 芳 子 (10/3歳) 西
- 同(西) 二 (みなみ) 酒 井 キ ミ 工 (10/2歳) 西
- 同(西) 三 田 原 鈴 木 ス エ ノ (10/1歳) 西
- 同(西) 四 (10/0歳) 西 加 藤 は な (10/0歳) 西
- 同(西) 五 渡 美 原 よ ね (10/0歳) 西
- 同(西) 六 田 原 江 口 キ 工 (10/0歳) 西
- 同(西) 七 (みなみ) 中 嶋 と み 子 (10/0歳) 西
- 同(西) 八 田 原 八 木 と る 子 (10/0歳) 西
- 同(西) 九 (10/0歳) 西 藤 田 リ ツ 子 (10/0歳) 西
- 同(西) 十 田 原 關 目 綾 野 (10/0歳) 西
- 同(西) 十一 (10/0歳) 西 田 中 は つ 子 (10/0歳) 西
- 同(西) 十二 東 進 村 井 き み 子 (10/0歳) 西

第11回

利用者満足度調査の結果について

ご協力ありがとうございました



平成14年に始めた利用者満足度アンケートは2年に一回実施し、今年で11回目となりました。今回も特定非営利活動法人しんしろドリーム荘（愛知県新城市）に委託して、令和4年1月30日から3月31日まで郵送調査と訪問聞き取り調査を行いました。コロナ禍でしたが、5,406名に郵送もしくは聞き取り調査を行い、3,693名の方から回答をいただきました。有効回答率は68・3%ですが、コロナ禍の2年間、利用者との面会や行事も制限された状況において「わかるところだけでも」と回答をお寄せいただいたご家族の皆様感謝申し上げます。

「コロナ禍の聞き取り調査」

しんしろドリーム荘の山本拓哉代表理事には、令和4年2月～3月、まさに第6波のさなかに毎朝の抗原検査ほか、アクリル板、マイク、スピーカー、CO₂センサー等万全の感染症対策をして聞き取り調査をしていただきました。養護やケアハウスのご利用者の中には2年に一度の聞き取り調査を楽しみにしている方も見えます。法人に付度することなく、しっかりと利用者寄り添って心の奥の本音を引き出してください、私どもにとっては耳の痛い意見も文章化して考察を加えていただいています。

「ニーズとケアのすれ違い」

毎回、気になる要望、ワードがありますが、今回は「動かさぬ介護・食べさせぬ介護」というものです。転倒事故防止のために「一人で動かないで」とセンサーでベッドに拘束すること、普通食が食べられる（食べたい）とされている利用者に刻み食・やわらか食を提供していることに不満の声が寄せられました。

センサーについては、居室のご利用者の様子を把握し、転落・転倒による骨折予防の目的で設置していますが、ご利用者からは、「見守られているのか、見張られているのかわからない」、「動かないと動けなくなってしまう」という声がありました。目の届かない居室での骨折を防ぐこととすることが却ってご利用者の動きを制限し、心理的にも相当のストレスを与えてしまっていたのです。食事も同様で、安全においしく食べてもらおうと刻み食ややわらか食を提供するのですが、ご利用者の方からすれば、普通食が食べたい。刻み食ややわらか食の味の課題のほかに、自分で咀嚼して食べる方が食材の旨味を味わえ、満足感が得られるということもあるでしょう。職員として良かれと思ってしたことについての間にか、度を越していたり、骨折や

窒息を防ぐ行為が日々の楽しみや自由を奪っているとしたら、本末転倒です。しんしろドリーム荘の山本氏にも「ご利用者の望むケアと職員が目指すケアがすれ違っていかないだろうか」と、ご指摘いただきました。リスクばかりに囚われるのではなく、ご利用者が幸せに生きていけるよう、ご家族にも同意をいただき、ご利用者の意向を尊重したケアプランを立

てたいと思います。

ケアハウス・養護の課題

ケアハウスや養護のご利用者からは「入居者同士の話し合いがしたい。施設特有のしきたりがあるが、もう少し風通しを良くしたい」、「問題がある入居者がいるが職員は注意をしない」とありました。終の棲家と決め、入居した方にとっては、入居者間の問題は相当なストレスでしょう。公明正大なルールの

もとでお互いに気持ちよく暮らしたいという気持ちに配慮されるようケアハウス・養護では利用者とともにルール作りができる仕組みづくり、定期的な会議の開催をしていきます。

職員教育と品質管理

「名札を付けていない職員が居るが付けるべき」、「ひと声かけてから靴からものをとり出してほしい」、「汚れものを触った手で風呂上りの人の着替えをしないでほしい」、「ヘルパーによってやり方が違い戸惑う」、「若いヘルパーを教育してほしい」等、衛生管理、気遣い、職員教育に関する要望も多く、山本氏から

も個人の資質に任せるのではなく、福寿園の品質を保つよう、法人としての教育の仕組みを強化するようにアドバイスをいただきました。また職員の間で「連絡・連携についても「連絡内容に齟齬がある」、「ご利用者からの」連絡が伝わっていないことがある」との不満がありました。事業所間の連携不足で毎年楽しみにされていた福寿園カレンダーがもらえなかったという記述もあり、少しの気遣い・確認で防げたことなので残念でなりません。これが健康管理・安全に関するものであれば、大ごとです。今一度、事業所内・事業所間の連絡・連携システムの確認をするように致します。

認知症の方の思い

グループホームの入居者も「何もせずにぼろっとしていると人間ダメになる」、「体は不自由だけれど、自分で考え工夫している」等、私たちが自分の生活を律するように、認知症の方も自立するための工夫をしており、「人は短所ばかり目につくものだけれど、お互いの良いところを見るようにしよう」と、人生の大先輩としての示唆に富んだ発言もありました。認知症の方はうまく言葉にできない時もあるけれど、認知症の方それぞれの「生きがい」や「役割」

を考え、心の内に秘めている自尊心やアイデンティティを尊重したケアに努めなければなりません。うまく表現できないだけで、私たち以上に感受性が強いということも踏まえ、「傾聴」し、ストレス軽減・笑顔が増えるケアを実践していきます。

職員一丸となって

現在、福寿園には正職員、パート職員、高齢者雇用、障がい者雇用、外国人スタッフ等、総勢1,700名の職員が在籍しています。一人ひとりのバックグラウンドも様々ですが、「福寿園」という法人の理念のもとに集まった同志として、一丸となってご利用者の満足度を高める努力をしてまいります。

最後に

最後になりますが、第11回利用者満足度調査報告書に貴重な意見をお寄せくださいましたご利用者・ご家族の皆様へ、改めてお礼申し上げます。当該報告書は各施設に配布してありますので、ご自由に閲覧していただき、ご意見、ご要望につきましましてはその都度、施設長、管理者、相談員等へお知らせいただけると嬉しく思います。今後とも、どうぞよろしくお願ひ致します。



連載 56

記録に残したい記憶

「貴重な体験を語り継ぐ」

貴重な体験を次世代へ伝えていくため「記録に残したい記憶」として、ひとりの方にスポットをあてて体験談をご紹介します。

私は、愛知県

名古屋市中生まれ、3人兄弟の真ん中で元気にすくすくと育ちました。しかし、私には父の記憶がありません。

父は私が4歳の時に戦死しています。父の記憶はありませんが、

安城に集団疎開し、岡崎の大空襲など、戦時の記憶はたくさんあります。安城から再び名古屋へ移り、まだ小学生だった私は、「生きる」ために悪いこともしてきたことを、今では反省しています。

中学校を卒業し、印刷会社に就職しました。しかし、その印刷会社の社長の妹さんに「あなたは勉強をしないさい」と言われ、夜間の高校に入学しました。今思えば、これが私の1回目の転機になったのでしょうか。

高校を卒業し、大学にも進学しま



消防隊員時代

した。大学生の時は、小学生を対象に家庭教師をしていました。中学卒業で働いたままでは考えられないことです。大学卒業後は上野町役場で税務課の仕事をしていました。町から市へと変わったタイミングで新たに消防署を作ることになりました。これが、私の2回目の転機です。この時に私は消防署への勤務を命じられたのです。消防学校へも通いました。初めての現場では、無我夢中に対応したのを今でも覚えています。20年消防の仕事に携わり、中でも「人命

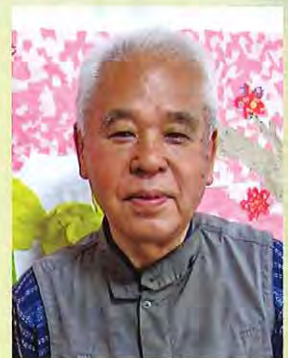
行った旅行が一番いい思い出となっていて。また、責任感が強い性格から、自治会や老人会の役員を長年務めました。仕事や役員を頑張りすぎ



思い出の清水寺にて

第一」は一度も忘れたことはありません。最終的には消防署長まで務めさせていただきました。昭和61年の大型船舶火災では、一時隊員も船内に閉じ込められ、生死にかかわる窮地に追い込まれましたが、冷静な判断と決断により全員脱出できた時の喜びは、今でも心に残っています。退職後は妻や孫たちとたくさん旅行に行きました。北海道や長野県など色々な場所へ行きましたが、京都の清水寺へ

たからでしょうか、突如体調が悪くなり、今でも耳鳴りが治りません。それがきっかけで、デイサービスに通うことになりました。今では友人もでき、その方と会うのが楽しみでデイサービスへ通っています。逆に、その方がお休みされると寂しく思います。これからも、1日でも長くデイサービスへ通えるよう、体調には十分に気を付けたいと思っています。



都築 功

(東海福寿園デイサービス)

プロフィール

生年月日：昭和13年5月10日
 趣味：ハイキング、旅行、音楽鑑賞、読書
 性格：穏やか、責任感が強い

各施設 TOPICS トピックス

グループホームちた福寿の里 暑さも吹き飛ばす運動会

グループホームで初めての運動会を開催しました。玉入れのカゴや応援のポンポンなどは利用者とともに手作りしました。競技一つひとつにも工夫を凝らし、玉入れは職員がカゴを背負ってヘルメットを被って走りまわり、とても盛り上がりまし



た。どの競技も、利用者の皆さんが

本気で闘い、とても楽しい運動会となりました。最後には、皆さんそれぞれに、頑張りを称える手作りメダルの授与式を行いました。利用者の皆さんは次の運動会に向けて、早くも闘志を燃やしています。

渥美福寿園

夏まつり

7月30日、「第22回渥美福寿園夏まつり」を4年ぶりに開催しました。まだコロナの影響もあり、デイ



サービスご利用者や地域の方々を呼んでの大きな開催はできませんでしたが、密にならないように時間をずらし、今回は、入居者とご家族の方に参加をしていただきました。久しぶりの盆踊りや飲食バザー、じやんけん大会など、浴衣姿の職員と一緒に、夏まつりを楽しめました。来年は例年通り、にぎやかな夏まつりができると良いですね。

花の里グループホーム 上手に割れるかな？

今年の夏はいちだんと暑く、そんな暑い夏にはスイカ割りには欠かせません。今年のスイカ割りは本格的に、木刀を手に目隠しをして、皆さんにチャレンジしてもらいました。周りからの応援に励まされ、



スイカめがけて腕を振り下ろしますが、なかなか割れません。「もうちょっと右だよ!」「違う違う、左!」と応援にも力が入ります。交代で挑んでやっと割れたスイカは、楽しさも相まって、いつもより美味しく感じたとおもいます。

くすのきの里デイサービス カレーバイキング

7月14日にカレーバイキングを行いました。バイキングに使用したじゃが芋は、デイサービス利用者さんと職員が野菜を育てている「くすのきファーム」



で収穫できたものです。バイキングのメニューは海老フライ、茄子、オクラ、白身フライ、ウインナーです。コロナ対策として、聞き取りを行いながら職員が配るスタイルをとりました。畑の指導者ともいえる利用者さんがいたので木曜日の開催となり、40名の利用者さんに楽しんでいただくことができました。また畑で野菜を育てて、行事を行っていきたいと思います。



豊田福寿園

そっだ！結婚式やろう♡

何か楽しいことはないかな？「そっだ！結婚式をやろう！」
ちよっぴりデイサービスの介護職員と特養の介護職員が入籍しました。当日まで本人や利用者には内緒にし、役職者がウエディングスタッフになり開催しました。利用者さんはちよっぴりおしゃれをして、



お祝い御膳は重箱に詰め、新郎新婦の衣装はスタッフの使用した衣装（今も夫婦円満の縁起の良い衣装）、ちよっぴり緊張気味の利用者さんからの祝辞。クライマックスは、遠く離れた新郎のお母さまよりラインビデオによるお祝いです。その日は素敵な優しい一日となりました。

東海福寿園

世界にたった一枚のハンカチ

玉ねぎの皮を使用して、草木染めハンカチを作りました。真っ白なハンカチにゴムを巻いたり割り箸を入れたり、皆さん真剣に模様作りをやってくださいました。玉ねぎの皮を鍋で煮て煮汁を作り、ハンカチをいざ投入すると、白いハンカチがオレンジに染まっていきます。ミョウバン液に漬けた後にゴム等を外す際、指先を器用に使って真剣な表情で外してくださいました。どんな模様になっているのかドキド



キしながら全部外すと、きれいな模様のハンカチの姿が。思わず職員も入居者も一緒に「すっごい」「きれいにできたね」と大喜び。一枚一枚個性が出ていて、世界に一枚しかないハンカチが完成しました。

ケアハウスパシフィック

太陽と笑顔の恵み

敷地内の一角に、入居者の方が趣味で作る菜園「にこにこファーム」があります。耕作向きでない環境ながらも、日が良く当たるよう周囲を整えたり、土を作り続けるなど、入居者の方が手探りで毎日コツコツと手入れをし、育ててきました。その努力が実を結び、夏野菜が豊作となりました。



た。手に持つと小さなトゲがチクチクする瑞々しいキュウリ、張りがあつてずしりと重いトマト、しっかりと重たいイボのゴーヤ、産毛がびっしりのオクラ、甘いトウモロコシなど、採れたてでなければ味わえない収穫の喜びです。その他にも、オレンジ色の提灯をたくさんつけたホオズキも菜園を飾ります。溢れる陽光と緑の中、想いを込め作業する姿は、生き生きときらめいています。

ひまわり邸

気持ちをリフレッシュ!

「介護に関する勉強をしたい!」「日々の介護に役立てたい!」「話がしたい!」と意欲ある介護者12名が集まり、ひまわり邸で家族介護交流会を開催しました。めったに会うことのない言語聴覚士さんから、「呼吸筋カトレーニング」等



自宅でできるリハビリの仕方を伝授していただきました。新しい学びや人との交流は、気持ちを前向きにします。「ちよっぴり苦しい時」、お近くの家族介護交流会に参加してみてください。次回は音楽療法。皆さんを笑顔にします!

ひまわりの街 竜神マルシェへようこそ!

夏空が広がる7月のある日曜日、芝生広場で竜神マルシェが開催されました! 竜神マルシェは、地域の子育てママさんたちが主催で行っているマルシェで、ひまわりの街での開催は2回目。しっかりと感染対策を行いながら、たくさんさんのハンドメイド雑貨のお店やキッチンカーが参加され、大賑わいでした。ひまわりの街のロビーには、シニ



ア世代を中心とした地域の方が作ったハンドメイド雑貨等を常設販売している「ひまわりマルシェ」を地域包括支援センターが運営しており、今回のマルシェでも出店させてもらいました。小さなお子さんからお年寄りまでたくさんの方が来場し、多くの素敵な笑顔が見られ、職員も一緒に楽しめました! 地域の人に愛される施設を目指し、これからも魅力あるイベントをたくさん開催していきたいです!

ケアハウスみなみ 入居者のボランティア

去年から、ボランティアの一環としてアルミ缶収集を行っています。それまでは、資源ごみとして捨てるだけだったアルミ缶。今は、洗って、専用ボックスで回収しています。初夏から真夏の期間は、アルミ缶を飲まれる方もいらっしゃるため、前回よりも多くの



アルミ缶が集まりました。「アルミ缶も積もれば山となり」、7ヶ月分のアルミ缶が8袋となりました。

これらは地域の中学校での回収日に合わせ、入居者さんにも手伝っていただき、生徒さんに交じて「たくさん集まるんだね。何が買えるんだろうね」と話しながら中学校へ寄付完了。次回の12月回収日に向けて、引き続きコツコツ溜めています。

昭和の里 北海道移動販売

コロナ禍で遠方へ旅行に行けないサービス付き高齢者向け住宅福寿の



入居者、昭和の里職員のために、株式会社ニユース細江様が移動販売を開催してくださいました。どれも選りすぐりの美味しそうな物産ばかり! みんな袋いっぱい買い物をしていました。特に人気だったのが「いかめし」で、あつという間に売り切れていました。「北海道に旅行した気分が味わえた」と、皆さん大変喜ばれました。好評につき第二弾も開催予定。次回はどんな商品が並ぶのか、今から楽しみです。

デイサービスきぬうら カフェ再開に向けて

デイサービスの工事等で一時休止していたカフェも再開に向けて、今月からケアハウスの女性入居者さんたちが練習を兼ねお手伝いに来てくれています。お茶を出したり、おやつ



時間にコーヒーやお菓子を配るなど、積極的に動き掛けしてくださっています。以前はケアハウス入居者さんとデイサービス利用者さんで一

緒に体操などしていましたが、コロナ禍で交流も少なくなりつつありました。しかし空調も新しくなり、感染対策もしっかりした上で交流の場を持つと、デイサービス利用者さんのみ使用していたカフェを、ケアハウスの方にもご利用いただけるよう、再開に向けて準備をしています。お互い楽しく交流できる場になると嬉しいです。再開時にはヒゲのコーヒーマスターも来てくださる予定です。お楽しみに!

田原ゆの里 オンライン面会

コロナの影響により、遠方にいるご家族と会えない状況が続いています。そんな中、LINEのビデオ通話を利用した「オンライン面会」をしました。画面の中のご家族に向かって「あれ、いつ来ただね?」と、



員も自然と笑顔になりました。

養護盲福寿園

懐かしい再会!

7月13日、大相撲名古屋場所(4日目)の観戦に出かけました。毎年この日を楽しみにしている入所者の皆さんですが、コロナの影響で実に2年ぶりの観戦となりました。会場に着くと、熊ヶ谷親方(元幕内玉飛鳥)に会うことができ、少しお話もさせていただきました。平成25年に田原市警察署の一日署長として、福寿園へ足を運ば



れたことをよく覚えていてくださり、入所者も職員も久々の再会に感激もひとしおでした。名古屋場所観戦を最後まで楽しみ、大相撲ファンにはたまらない一日となりました。

実際に目の前に居ると思っ話しかけていました。声は聞こえていても、「何と言っている?」と隣の職員に何度か確認することもありましたが、画面越しでも、良い表情に変わられるご利用者のご家族の様子を見ると、職

武豊福寿園デイサービス

スイカに気持ちを込めて

夏の風物詩であるスイカ割りを行いました。職員の実家で採れたての大きくて甘いスイカをたくさん用意して、曜日ごとに利用者と職員で挑戦し、とても盛り上がりました。割れたスイカをカットして、普段のおやつと併せて食べていただきました。

「こんなに食べられないよ」と嬉しそうに驚きつつも、皆様難なく



田原福寿園ヘルパーセンター 今月は何かな?

ヘルパーで訪問させていただくと、ご利用者さんとの会話の中で、『外に出掛けることがないのであなた達からの情報が楽しみ』と言われることも多く、何か季節感を感じてもら



えればと考え、今年は季節を感じるカレンダーを作成しています。カレンダーを渡すうちに「次は七夕かな、花火かな?」等、その月の季節を思い浮かべながら楽しみにしてくださっています。私たち職員も楽しみながら作成しています。

放課後等デイサービスふくっこ

ふくっこ大花火

子どもたちの夏休みの創作活動の一環として、ストローを切り開いて作ったスタンプを用いて、画用紙に花火を描きました。絵具で様々な色を作りながら「混ぜるとこんな色になったよ」と変化を楽しみながら、色の勉強にもなりました。コロナ禍で実際に花火を見る機会も

少なくなってい



る中、ふくっこの玄関では、個性あふれる色とりどりの花火が迎えてくれています。

日間賀島謎解き体験 by アウトドアサークル



7月14日にアウトドアサークルを行いました。天気にも恵まれて総勢36名の職員が参加しました。企画は名鉄観光とのコラボで、日間賀島を散策しながら島にちなんだ謎解き体験をしました。チームに分かれて謎を解きながら、楽しく島を散策することができ、他施設や他部署の職員との親睦を深める良い機会にもなりました。昼食にはタコ飯や刺身など、ご当地グルメを美味しくいただきました。

初任者研修開校式

ひまわりの街

くすのきの里

6月11日にひまわりの街、6月25日にくすのきの里で、田原福祉グローバル専門学校主催の介護職員初任者研修の開校式が行われました。介護職員としてのスキルアップや介護未経験のため一から知識を付けたい方など、延べ34名の受講生が参加しました。受講生は皆、緊張した面持ちでしたが、これから半年間、介護の基本的知識・技術をしっかりと学んでほしいと思います。



花の里
久々の館内清掃
7月の中旬に家族会環境美化活動を行いました。当初は、花の里の広い花壇の草取りを予定していましたが、あいにくの雨模様となつてしまったため、館内の清掃を手分けして行いました。窓や壁を拭き、ピロティでは蜘蛛の巣取り等、広い範囲があつという間にきれいになっていきました。

花の里 久々の館内清掃

渥美福寿園
環境美化活動
7月23日、夏まつりに向けて窓拭きや草取り作業を行っていたが、園内外がとても綺麗になりました。暑い中の活動でしたが、ご家族同士の会話も弾まれ、楽しい活動となりました。ご参加いただきありがとうございました。

渥美福寿園 環境美化活動

各施設での家族会や家族親睦会の活動を報告します。

家族会だより

ひまわりの街
ボランティア活動
7月3日に18家族26名のご家族の方が参加され、草取りや施設内の清掃を行っていただきました。雨の中の草刈りや車椅子の清掃、ロビーの窓ふきを手際よく進め、気持ち良い施設環境

ひまわりの街 ボランティア活動

感染対策のために短時間での活動でしたが、久しぶりにご家族同士の情報交換もでき、よい機会となりました。



武豊福寿園
清掃活動
7月24日に施設周りの草取りと1階ロビー周りの窓の清掃をしていただきました。快晴でも暑い中、20家族28名のご参加ありがとうございました。皆さんと一緒に清掃活動をし、一緒の時間を過ごすことで家族会の「絆」が生まれたのではないのでしょうか。清掃活動終了後は冷たいアイスを食べ、疲れを癒しました。食事は感染対策のため中止となりましたので、昭和の里のお菓子を持ち帰っていただきました。

武豊福寿園 清掃活動

になりました。きれいなロビー、地域交流ホールで入居者と楽しく過ごされました。

New 連載

「新人介護士」 つりちゃん

Vol. 1

案人



【新連載スタート】福寿園オリジナル四コマまんが



作者紹介 楽人(かなと)
漫画家。愛知県出身。

2021年12月、講談社モーニング月例賞「身代金がない」にて入選。冴田気のある劇画風のタッチを得意とする。

今1番好きな食べ物はアイス。ワッフルコーンのアイスクリームに取りつかれている。最近登山を始めたが、帰宅後リュックの中からムカデが出てくるという初めての体験をした。

Twitter : KNTcmc

連載

施設長・管理者の リレーコラム



特別養護老人ホーム
くすのきの里
施設長 吉井 覚

私の趣味はトランペットとウォーキングです。「昼休みにラッパを吹けるだろうか。」「帰ったら今日はどこまで歩こうか。」そんな毎日を送っています。

トランペットは、現在3つのバンドで活動しています。475番カルテットは、福寿園の職員4人でやっていて、ピアノボーカル兼爆笑MCの今井総務課長が昭和歌謡を歌い上げるおもしろバンドです。LTS Jazz Orchestraは職員のサークル活動で、経験者から初心者まで20人の職員で楽しみながらやっています。そして、Highnote Klaxonは地元のアマチュアビッグバンドで、このバンドには14年前から所属しています。このバンドで初めてジャズを経験し、すっかりSwingする人間になってしまいました。

もう一つの楽しみがウォーキング時々ランニングです。もともとはメタボ解消のために歩き始め、4キロも歩けば満足だったのですが、6キロになり、8キロになり、今ではいったん家を出たら10キロは歩かないと満足できません。しかし、10キロ歩くとすると1時間40分くらいかかるので、その時間があったいなくて、走るようになりました。日々の歩き走りのおかげで、体重もここ4年で10kg程度減り、座る時にお腹がつかえなくなりました。

最後に悩みが一つ。体重が減り、特に腹周りが細くなるとラッパの音が小さくなってしまいます。「やせたいけど、大きな音でラッパも吹きたい。」そんなジレンマの46歳夏でした。

次号は、昭和の里の古田拓士管理者へバトンを渡します。



令和4年9月10日発行

■発行／社会福祉法人 福寿園

■理事長／山田浩三

愛知県田原市六連町神ノ釜9-3 ☎0531-27-0008

<https://www.fukujuen.or.jp>

ISO9001/14001 認証取得 ※みわりは再生紙を使用しています。



Instagram

facebook

YouTube

vol.165

12